

2023年度 昭和音楽大学 教員・研究員研究発表③



梅北 直昭 (作曲)

演奏: 佐々木 絵理 (ピアノ)

梅北直昭: 《新作のため未定》

(ピアノ生演奏と同時に音源再生を予定)



後藤 育慧 (ピアノ)

助演: 藤代 敏裕 (ピアノ)

J. S. バッハ: 《フーガの技法》二短調
BWV1080 より I ~ VII
(2台ピアノ4手)



川島 余里 (ピアノ)

助演: ジェラルド・プーレ (ヴァイオリン)

R. シュトラウス:
《ヴァイオリンとピアノのためのソナタ》
変ホ長調 作品18

2023年 **11月16日** (木) 18:20 開演 (17:50 開場)

会 場 **昭和音楽大学南校舎5階 ユリホール**

(小田急線新百合ヶ丘駅南口より徒歩4分)

料 金 **入場無料** 会場に直接お越しください。

※未就学児の入場はできません。
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。
※満席となった場合は、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。

2023年度 昭和音楽大学 教員・研究員研究発表③ 出演者プロフィール



梅北 直昭 (作曲)

現代音楽の作曲家として仏教の死生観を創造の根底に据えた「弔の儀式」としての音響空間を探索。SIMM2016国際作曲コンクール“New Music for Harpsichord”（イタリア）において第2位（1位なし）を受賞。近年は中国アセアン音楽週間、金沢市民芸術村（Kanazawa Citizen's Art Center）からの作曲委嘱、現音 Music of Our Time 2021での作品発表など、国内外で様々な活動を行う。昭和音楽大学卒業、同大学大学院修了。桐朋学園大学研究生3年（作曲科最高課程）修了。作曲を秋田和久、権代敦彦、法倉雅紀の各氏に師事した。音楽集団〈音仙人〉メンバー。日本現代音楽協会会員。現在、昭和音楽大学専任講師。



佐々木 絵理 (ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科作曲専攻卒業。同大学研究科修了。

音楽集団「音仙人」のメンバー（作曲・ピアノ）として多数の東京公演の他、韓国公演、大学でのレクチャーコンサートなども行い、現代作品の初演、演奏を積極的に行っている。2011年よりトリオ「アンサンブル・リリ」として活動（ピアノ、作・編曲担当）、2019年に1stアルバム「The Joy of Three」をリリース。2016年より日本名曲アルバム（BS-TBS）の編曲を担当。その他、クラシック音楽館（NHK）、読響シンフォニックライブ（読売テレビ）などで編曲作品が多数演奏されており、現在作・編曲と演奏の両面で活動している。昭和音楽大学、東京成徳短期大学非常勤講師。



後藤 育慧 (ピアノ)

国内外でソロリサイタル、アンサンブルなど、また国内各地でピアノ指導法講座、マスタークラス、コンクールの審査を行う。イタリアでは夏の音楽祭に招かれ2005年2006年にソロとデュオのリサイタル。2011年日独交流150年にあたり、各大使館の後援を得て日本とベルリン（在独日本大使館）にてコンサートを行う。2015年夏フィンランド〈シベリウス生誕150年記念音楽祭〉に出演、ハメーンリンナの生家と終の住処アイノラ荘にて演奏。2016年2月ベルリンにてシュベルト『冬の旅』をR.カラー氏（バスバリトン・スイス在住）と共演。古典調律によるバッハコンサートシリーズや、2016年秋にはバッハ『ゴルトベルク変奏曲』を演奏。今回はそれに続く試演となる。



藤代 敏裕 (ピアノ)

作曲家、ピアノ・エレクトーン奏者。昭和音楽大学大学院音楽研究科修士課程音楽芸術表現専攻作曲分野修了。作曲を喜久邦博、豊住竜志の各氏に、ピアノを木村もと子、後藤育慧の各氏に師事。主な作品は、2009年全日本吹奏楽コンクール課題曲Ⅳマーチ《青空と太陽》、2019年シンガポールSOTAにて南洋理工大學吹奏楽団による初演《ペガサス-夜空を駆ける物語》、2019年即位礼正殿の儀の日、改元奉祝記念式典・奉祝コンサート委嘱作品《葉山 祝祭の街》がある。自作曲作品集「巡季-藤代敏裕作品集・壱」「うちがわ-藤代敏裕作品集・弐」をリリース。作・編曲作品は東京ハッスルコピー、ドレミ楽譜出版社等から出版されている。



川島 余里 (ピアノ)

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。H.ピュイグ=ロジェに師事した後1989年に渡仏。パリ国立地方音楽院にてピアノ科とピアノ伴奏科のブルミエ・プリ取得。O.ギャルドン、G.ジョワ（デュティエユ夫人）に師事。巨匠ジェラルド・プーレに最も信頼されるピアニストとなる。ロン＝ティボー国際コンクール公式伴奏者。パリ国立高等音楽院を始め、複数の音楽院で伴奏者として勤務した後、2005年に帰国。東京藝大弦楽科及び附属高校で伴奏助手を務め、05年吹田音楽コンクール作曲部門にて、ヴァイオリン・ソロ曲第1位受賞。日本フォーレ協会会員。当協会創立30周年を記念した協会員8名の作曲家によるピアノ作品集「フォーレ讃」から一曲を作曲（音楽之友社出版）現在、東京藝術大学、昭和音楽大学にて、ソルフェージュおよび室内楽の非常勤講師を務める。



ジェラルド・プーレ (ヴァイオリン)

フランスの至宝。85歳を超えた今も現役の巨匠ヴァイオリニストであり偉大な教育者。11歳でパリ国立高等音楽院に入学し2年後に首席卒業。18歳でバガニーニ国際コンクール優勝。H・シェリング等の巨匠に師事。パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団等、共演したオーケストラは枚挙に暇がなく、世界中で活躍。審査員（長）として数々の国際コンクールにも招かれる。長年教授を務めたパリ国立高等音楽院後、パリ市立音楽院、エコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、2005～09年東京藝術大学客員教授・招聘教授を務めた。70枚以上のCD（LP）をリリース。1995年にフランス芸術文化勲章及び1999年に文化功労賞を受賞。2019年5月にフランス文化省から、フランス芸術文化勲章の最高位コマンドールを叙勲。2010年から現在、昭和音楽大学客員教授。

新型コロナウイルス感染防止の取り組みにご協力をお願いいたします | ●体調不良の方は入場をお控えください。●咳エチケット、手指の消毒、声援時マスクの着用を推奨いたします。

昭和音楽大学 友の会
ゆりフレンズ会員募集中

【会費】
1年間2,000円

特典

- 500円引クーポン進呈（年1回）
- 本学主催公演1割引（一部対象外あり）
小～高校生は学生料金より100円引

※詳細は公式サイトをご覧ください。